

ニュース和歌山 2022年3月26日号の  
「おしえて！マイドクターQ&A」に掲載。

Q

右手首が痛みます。病院で腱鞘炎のドケルバン病といわれました。



社会医療法人三車会  
公式キャラクター  
みくまくん

《回答者》

◆整形外科

貴志川リハビリ  
テーション病院

手・足の外科センター

整形外科専門医 手外科専門医

谷口 泰徳 副院長・センター長

A

ドケルバンとい  
う病名は、1895  
年にスイスの外科

医のドケルバン先生が最初に  
病気を報告したので、この病名  
が付けられました。ドケルバン  
病は手首の親指側にある腱鞘

とそこを通る腱に炎症が起こ  
る腱鞘炎です。症状は親指を動  
かした時の手首親指側の強い  
痛み、腫れや熱っぽさなどで  
す。親指を握って、手首を小指  
側に曲げた時に手首の親指側  
に痛みがでる場合はドケルバ  
ン病の可能性が高いです。親指  
を使って物をつかんだり、タオ  
ルを絞る、スマホ操作するなど  
の動作で痛みが増します。  
原因は親指の使い過ぎで、手

作業の多い方、介護やスポーツ  
で手を使用する人などに多く  
みられます。また、更年期の女  
性や妊産婦に多い腱鞘炎とし  
て知られており、女性ホルモン  
のバランスの乱れが関連して  
いると思われます。

治療はまず局所を安静にし  
て、親指の使いすぎを控えま  
す。さらに湿布をしたり、腱鞘  
内に局所麻酔剤入りステロイ  
ド注射をします。これで改善し  
ない時や再発する場合は手術  
を行います。手術では手首の皮  
膚を少し切開し、腱鞘を切りま  
す。手術時間は10分程度で、痛  
みなどの症状はすぐになくな  
ります。詳しいことは手外科専  
門医にご相談下さい。